

委員長 それでは休憩を解いて再開します。 (13時00分)

午前中で質疑は終わりましたので、採決に入りたいと思いますが、採決の前に御意見のある委員は挙手をお願いします。意見を上げてください。（「何に對してですか。」の声あり）今までやったことに対して。全部。それで意見を出してもらった後、個々に対して採決をとりたいと思いますので。

井上委員 委員会としてはそうなんですけど、個々に意見を出すのはね、やはり議案ごとに区切ってやったほうがいいんじゃないでしょうか。

委員長 議案ごとに。

井上委員 一般会計とかね。それは後で委員長、副委員長でまとめていただければ、いいんじゃないかと思えますけどね。

委員長 それはそれでもいいんですけど、ただ全体でまず一般会計について賛成か反対か最終的にとらなきゃいけないと思うんですよ。その中で一般会計から企業会計までいろいろやったわけなんですけど、それをまとめてですね、意見があれば出してもらったらいんじゃないかと思うんですね、細かく区切ってやるよりは。報告書のほうもね、今回の場合には、今まで一般会計だけだったのが、一般会計と特別会計、そして企業会計と、多くなりますのでね、そんなに細かいことまで入れてたら、もう何ページにもわたっちゃうということで、その辺もちょっと頭の中に入れてもらって質疑してもらえれば助かります。

寺嶋委員 ちょっと趣旨が分からないんですけども。表決する前に意見表明をしろというのか、採決をしてからこういう要望を、附帯事項というかさ、そういうのを採決をしてからの…。

委員長 先ほど言いましたように、御意見のある方はね、採決の前に意見を出してほしいということなんです。

井上委員 賛成か反対かという意見ですか。

委員長 いや、じゃなくて、その前の段階です。

井上委員 何を出すんですか。

委員長 だからいろいろ問題がある人があれば、その問題を出してもらいたいと。それに対してそれを前提に、じゃあその採決に対して賛成か反対かをね、その後

やりたいと思うんですね。もしなければ採決に入っちゃっても構わないと思いますが。

寺 嶋 委 員 意見出したら、この議題、主な議題だったら新松田、例えば出されたけども、これはどうなんだって、議員間の討議をするのかね。または問題になってる、自分が問題だと思われるところのね、これはちょっと疑問だから賛成できないよと、何かちょっとクッションだなというふうに言うのかね。その辺の趣旨がよく分からないんだよね。

委 員 長 それはだからどっちでもいいんじゃないですか。いけないの。意見だから何だっていいと思いますけど。こういうふうなことは問題じゃないかとか、そういう意見でもいいし。

古 谷 委 員 委員長、まとめてなんて今、話なんですけど。1点ずつやってもらったほうが一番分かりがいいと思うんですけど。

委 員 長 それで1点ずつやって1点ずつ採決していきますか。採決は後で。

古 谷 委 員 1件ずつしちゃったほうがいいと思いますけど。

委 員 長 採決まで。採決まで。皆さんいかがでしょうか、そういう意見出てますけど。皆さん、もしそれでよろしければ、そっちのほうで。

寺 嶋 委 員 採決はだから一般会計、特別会計、会計ごとにね、やってもらって、それで採決したら意見…まあとにかくそれで意見の取りまとめするというようなこと。

委 員 長 じゃあ1件ずつやるということでよろしいですかね。どうですか。

(「結構です。」の声あり)

それでは、まず令和6年度松田町一般会計予算につきまして意見のある方はお願いします。

井 上 委 員 ちょっといいですか。意見というのがよく分からないですけど、要望でいいんですか。何でもいいんですか。

委 員 長 何でもいいです。

井 上 委 員 じゃあ何点か。何点か言ってよろしいですか。まずですね、一般会計の中でA I オンデマンドバスの購入事業ということで計上されていますが。

委 員 長 ちょっとはっきり言ってください。ちょっと聞きにくいんですけど。

井上委員 オンデマンドバス購入事業。これについては、事業の内容をしっかりと見極めて執行をしていただきたいと。説明の中でもかなり状況的に厳しいという中で、さらにバスを2台購入をされるということで、バスの台数が増えることは利用者の利便に寄与すると思うんですけども、その分、経費がかかると。そういったところで実際に事業体と町がそれに対しての補助金を出してる中での調整として、収益の状況等を見極めて執行をしていただければというふうに思います。それが1点目です。はい。

2点目はですね、新松田駅整備事業の中で、都市計画決定をですね、9月ないし10月に県に提出をしたいという意向の中で、4月からの半年、6か月の中で、かなりたくさんの内容をまとめていかなければいけない。町民の意見、考え方も反映させなければいけない。その中でどのように町は進められるのか。しっかりと町民の意見を反映をした都市計画決定となるようにしていただきたい。私は一般会計については以上であります。

委員 長 最後、町民の意見を、何でしたっけ。

井上委員 反映した都市計画決定。

委員 長 反映した都市計画ね。ほかにございますか。

寺嶋委員 自分で感じたことだけじゃあ言いますけども。まず、前者が言いましたように、A I オンデマンドバスの実証実験なんですけども。とにかくね、運行エリアなど拡大して、利便性を向上させてパスポート会員などの利用者を増やしてね、持続可能な事業にすることっていうのが1つあります。

それから使用料のことなんですけども、小・中学校体育館とか生涯学習センターの中の、での使用料が5年度、今回値上げした中での見込みなんですけども。そういうことに計上する中でね、やっぱり利用者をね、本当にいろんな工夫をしたり事業を考えたりして、利用者をとにかく増やしてね、少しでも収益を上げるように努められたいというのが2つ目です。

あとはですね、子育て支援の拡充では、町独自のすこやか祝い金なんですけどね。要するに新生児、赤ちゃんが1人生まれたら5万円というのはあるんですけどね。やっぱり子育て支援拡充としては5万円を維持すること。あるいは

給食費の値上げの分、値上げといたしますか、物価高騰等で補助してはいますが、やっぱり値上げ、これも学校給食費も値上げしてるわけなんで、さらにね、無償化に向けてね、ぜひ努力されたいというのが、大きく私は3点を、要望じゃないや、3点を感じました。以上です。4点…4点言ったか。

委員 長 3、4は同じだよ。子育て支援と同じ。

寺嶋 委員 そうそうそう、同じ。

委員 長 ほかに。ほかにありませんか。

なければ一般会計予算、この程度でよろしいですか。

中津川 委員 寄地区の活性化についてはですね、今回いろいろと寄地区に特化した施策を打ち出していらっしゃるんですけども。一過性ではなくて、未来永劫ね、持続可能な事業にね、なるように、内容十分精査していただいて、地域のニーズにも合ったような形でですね、進めていっていただければと思います。

委員 長 ほかに。

南雲 委員 寄りやま運動広場人工芝新設工事に関しては、町民のコンセンサスが得られるように工夫して執行されたい。

委員 長 町民とのコンセンサスが図れるよう。

南雲 委員 そうですね。はい。

委員 長 図れるよう執行されたい。

南雲 委員 工夫して。

委員 長 工夫して執行されたいと。

ほかにいかがでしょうか。一般会計予算についてその辺でよろしいですかね。意見としては。

議長 総括で言ったことで1つ、スポーツツーリズムについては目標をよく精査して執行されたいと言うとあれなんだね。何て続ければいいのか。

委員 長 よく精査され執行されたいでしょう。それはまたみんなで考えれば。一応出しておいて。

ほかにございますか。一般会計、じゃあこの辺でよろしいですかね。ないようでしたら。先ほど出たその都度じゃあ採決というふうなことでよろしいで

すか、出た意見の中で。

じゃあ、まず一般会計予算について意見が出ました。これに対してですね、採決に入ります。賛成の方の挙手を求めます。

賛成多数です。じゃあこれは賛成多数で、多数ということで可決すべきものと決定しました。

続きまして、令和6年度松田町国民健康保険事業特別会計予算につきまして、意見のある方、お願いします。ありませんか。

田代委員 全体の関係ですか。全部でいいんですか。特会を含めて。一つ一つではなくて。

委員長 いや、今、一つ一つって皆さんから意見が出たんで。

田代委員 そうなんだ。国保からね。

委員長 国民健康保険事業につきまして賛成の方の挙手を求めます。（「意見は。」の声あり）意見ないでしょ、もうだって。

田代委員 お諮りされてないんで。あるっぽいですよ。

委員長 そう。じゃあね、松田町国民健康保険事業特別会計について意見のある方はいませんか。

ないようでしたら、6年度松田町国民健康保険事業特別会計予算について賛成の方の挙手を求めます。

挙手全員であります。よって、賛成全員ということで可決すべきものと決定しました。

井上委員 1人いらっしゃらないみたいですけど。

議長 ああそうだ。

議会事務局長 いる方は全員なので、全員で。

委員長 武尾さんにつきましてはですね、午後から所用でちょっと病院のほうへ行きたいということなので、午後欠席ということですので、よろしくをお願いします。報告が遅れまして申し訳ありません。

続きまして、令和6年度松田町国民健康保険事業特別会計予算…あ、これはやったのか。6年度松田町国民健康保険事業特別会計…じゃないよな。（「診

療所。」の声あり) 松田町国民健康保険診療所事業特別会計予算について、意見のある方、お願いします。

田代委員 こここのところで、先ほど説明したとおり、収入が結構厳しい状況で赤字収支になってるといことなんで、診療所収入、これを増加させるよう、増加するようにされたいと。もし余裕があれば、この言葉はぜひ入れていただきたいということです。財調が枯渇するため、入れていただければありがたいと思います。

委員長 ほかにございますか。

ないようでしたら、決をとってよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、令和6年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計予算につきまして、賛成の方の挙手を求めます。

挙手全員であります。よって、本案は可決すべきものと決定いたしました。

続きまして、令和6年度松田町後期高齢者医療特別会計予算について…(「介護保険」の声あり) 介護保険がある。続きまして、令和6年度松田町介護保険事業特別会計予算につきまして、意見のある方をお願いします。意見のある方、ございますか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、令和6年度松田町介護保険事業特別会計予算につきまして、賛成の方の挙手を求めます。

挙手全員であります。よって、松田町介護保険事業特別会計予算は可決すべきものと決定しました。

続きまして、令和6年度松田町用地取得特別会計予算について、意見のある方の御意見ををお願いします。

(「なし」の声あり)

ありませんか。なしという声ですので、そのように取り計らってよろしいですか。

(「はい」の声あり)

それでは、令和6年度松田町用地取得特別会計予算につきまして、賛成の方の挙手を求めます。

挙手全員であります。よって、松田町用地取得特別会計予算につきましては可決すべきものと決定しました。

続きまして、令和6年度松田町後期高齢者医療特別会計予算につきまして、御意見のある方、ございましたらお願いします。

(「なし」の声あり)

なしということよろしいですか。それでは令和6年度松田町後期高齢者医療特別会計予算につきまして、賛成の方の挙手を求めます。

挙手全員であります。よって、本案は賛成全員で可決すべきものと決定しました。

続きまして、令和6年度松田町上水道事業会計予算について、意見のある方の御意見を求めます。

田代委員 水道使用料の滞納額、この縮小に努められたいと、入れていただければ。よろしくお願いします。ありがたいです。以上でございます。

委員長 ほかにございますか。

井上委員 上水道会計につきましては、給水人口の減少が見込まれると。それに合わせて給水収益も今後減少をしていきます。水道管については、耐用年数40年ということで、今後耐震化を含め、設備の更新が見込まれるという中で、的確な運営を図られたい。

委員長 ほかの方は何かございますか。ほかの方の意見はございませんか、特に。

(「なし」の声あり)

なしということですので、質疑を打ち切ります。

令和6年度松田町上水道事業会計予算について、賛成の方の挙手を求めます。

挙手全員であります。よって、令和6年度松田町上水道事業会計予算は可決されました。

続きまして、令和6年度松田町寄簡易水道事業会計予算につきまして、意見のある方の御意見をお願いします。

井上委員 寄簡易水道事業会計につきましては、令和6年度企業会計化となりました。そこで、その最初の年次からですね、上水道会計からの貸付を受けないと赤字となってしまうという局面です。今後の設備の更新等が多大なものが想定される中で、寄簡易水道事業会計の健全な財政運営を図るための方策として、値上げ等を検討をする対応を図られたい。

委員長 それは寄簡易水道組合だけの話ですか、値上げというのは。

井上委員 これはだって簡易水道だけのあれでしょ。今は簡易水道に対する意見でしょ。それしか言えないんじゃないですか。

委員長 同じ町民として、松田の地区の人と差があっていいんですか。

井上委員 関係ないでしょう。今、簡易水道事業会計の議案に対しての意見ですよ。

委員長 それも勘案しての意見ですね、これね。

井上委員 いや、そんなの勘案してないですよ。寄簡水について独自にそれは財政、健全財政を図っていかなければいけないという、今回の6年度予算に対しての意見ですから、それを今、何か委員長が勝手に想像しているだけの話なんで、それはちょっと入れられないですよ。

委員長 はい、分かりました。

井上委員 今、企業だけの意見ですよ。寄簡易水道事業会計だけの意見ですよ。もう一回確認しますけど。

委員長 そうです。

井上委員 であれば、そういうことですので。

委員長 ほかにありませんか。

ないようですので、令和6年度松田町寄簡易水道事業会計予算につきまして採決したいと思います。賛成の方の挙手を求めます。

挙手全員であります。よって、令和6年度松田町寄簡易水道事業会計予算につきましては可決と決定しました。

続きまして、令和6年度松田町下水道事業会計予算について、意見のある方の意見を求めます。

井上委員 下水道事業会計につきましても、令和6年度から企業会計化をされた会計予

算であります。今回も運転資金として1,000万円を一般会計から借り入れて、この予算が成立をしております。下水道収益、今後の健全財政を念頭に置き、的確な対応を図られたい。以上です。

委員長 ほかにごございますか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、令和6年度松田町下水道事業会計予算につきまして、挙手をとりたいと思います。採決をしたいと思います。賛成の方の挙手を求めます。

賛成全員です。よって、令和6年度松田町下水道事業会計予算につきましては賛成全員で可決すべきものと決定しました。

お諮りいたします。報告書の作成についてはどのような形にしたらよいでしょうか。

いかがですか。

田代委員 今まで出た意見を参考にさせていただいて、あと正・副委員長に一任いたしますので、少し絞り込んで報告書案を作ってくださいたらありがたいと思います。

委員長 そのほかの御意見ございましたら。

(「なし」の声あり)

それでは、今まで出た意見を参考にしましてですね、正・副委員長で案を作成したいと思いますので、それまで暫時休憩とさせていただきます。

(13時31分)

委員長 それでは、休憩を解いて再開します。

(14時07分)

お手元にお配りした報告書の案を読み上げて、委員の皆様の御意見をお願いしたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。それでは、事務局長は朗読をお願いします。

議会事務局長 (案) 令和6年3月13日、松田町議会議長 平野由里子殿。予算審査特別委員会委員長 飯田一。

予算審査特別委員会報告書。本委員会は3月11日、13日、委員11人全員出席

のもとに、役場4階大会議室において委員会を開催し、令和6年第1回議会定例会において付託された議案第22号令和6年度松田町一般会計予算から議案第30号令和6年度松田町下水道事業会計予算までの9議案は、審査の結果、次のとおり決定したので報告します。

記、1、審査の結果。議案第22号令和6年度松田町一般会計予算、賛成多数により原案のとおり可決すべきもの。議案第23号令和6年度松田町国民健康保険事業特別会計予算、賛成全員により原案のとおり可決すべきもの。議案第24号令和6年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計予算、賛成全員により原案のとおり可決すべきもの。議案第25号令和6年度松田町介護保険事業特別会計予算、賛成全員により原案のとおり可決すべきもの。議案第26号令和6年度松田町用地取得特別会計予算、賛成全員により原案のとおり可決すべきもの。議案第27号令和6年度松田町後期高齢者医療特別会計予算、賛成全員により原案のとおり可決すべきもの。議案第28号令和6年度松田町上水道事業会計予算、賛成全員により原案のとおり可決すべきもの。議案第29号令和6年度松田町寄簡易水道事業会計予算、賛成全員により原案のとおり可決すべきもの。議案第30号令和6年度松田町下水道事業会計予算、賛成全員により原案のとおり可決すべきもの。

2、審査の内容。一般会計予算の歳出については一括、歳出については款ごとに審査しました。特別会計予算・企業会計予算については、会計ごとに審査しました。

予算執行に当たっては、次の事項について申入れをします。

(1) AIオンデマンドバス購入事業については、収支が厳しいとのことなので、収益の状況を見きわめて、利用者を増やすことで持続可能な事業にされたい。

(2) 新松田駅整備事業については、町民の意見を反映した都市計画決定されたい。

(3) 学習センターの利用料金値上げの中で、利用者を増やして収益を上げるようされたい。

(4) 町独自の健やか祝い金5万円を維持し、給食費無償化に向けて努力されたい。

(5) 寄活性化については、一過性ではなく、持続可能な施策にしていただきたい。

(6) 寄みやまの里運動広場人工芝については、町民のコンセンサスが図れるよう、工夫して執行されたい。

(7) スポーツツーリズムについては、目標生産と実行されたい。

(8) 財調が枯渇するため、診療所収入が増加するよう努力されたい。

(9) 水道使用料滞納額の縮小に努められたい。

(10) 給水人口の減少により減収が見込まれる中で、設備改修が必要なため、的確な執行を行われたい。

(11) 令和6年度から企業会計化されたが、開始から借入れが必要な状況にあることを鑑み、今後の健全な財政運営のため、的確な対応を検討されたい。

よろしく申し上げます。

委員長 ただいま事務局長のほうより朗読していただきました。委員の皆さんの御意見をお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

井上委員 審査の内容のですね、(2)新松田駅で、正式名称は周辺整備事業なので、駅の整備事業と誤解されると思いますので、新松田駅周辺整備事業にしていただきたいと思います。

あとですね、(8)からは、それぞれの会計をですね、明確にしていだかないと、何のことを…何のことに對しての意見なのか、要望項目なのかが不明確ですので、(8)は国保診療所事業特別会計、9はよく分からないんですけども、9は上水道事業会計ですね。9、10が上水道事業会計、11は寄簡易水道事業会計ということの明記をお願いいたします。

委員長 今、会計名も入れないとよく分からないというふうな、どういうふうな入れ方にしたらいいですか。

井上委員 だから、その前に診療所収入…(8)は「松田町国保診療所特別会計については」と入れればいいんじゃないですか。

委員長 については、はい。ほかに。

井上委員 9、10は上水道事業会計ですので、9で、上水道事業会計の水道使用料の滞納額の縮小に努められたい。10は、上水道事業会計については、給水人口の減少により減収が見込まれるということで、11は寄簡易水道事業会計についてはということで入れていただければ、明確ではないかなと思います。

委員長 1つの意見が出ました。ほかにございますか。

田代委員 全部で11点あるんですけども、比較的大きいものに少し絞り込んでいいのではないかな。今ここにある11点については、皆様から頂いた意見だと認識しています。これをやはり重要案件に絞って、もう少しコンパクトな報告書にされたらよろしいのかなと私は思います。よろしくをお願いします。

委員長 今出ている11件をもう少しまとめたかどうかというふうな意見です。その意見について、皆さんいかがですか。

中津川委員 まず、今この中の文章だけで言うと、(5)のところはですね、寄活性化についてのところ、これは寄地区の活性化についてはと。(6)のところは、寄みやまの里運動広場とあるんだけど、これは「里」はいらないんです。寄みやま運動広場。一番下のところは、コンセンサスが図られるようという、これは測量の「測」じゃなくて、違う「はかる」かなというふうに思っています。

それから8番のところの、ここには財調と書いてあるんですけども、ここは財調、正式名称。(「財政調整基金」の声あり)そうそう。そういうふうに、公文書みたいなものですから、そういうふうにしっかり、省略したものじゃなくて、そういうふうにしたほうがいいのかなど。先ほどちょっと井上議員さんのほうからお話があったように、いろんな会計ごとにということですが、井上さんのおっしゃるのだと、じゃあ1番から7番は何なのよとなるんで、一般会計予算については1、2、3、4、5、6、7。例えば上水道については1でいく。下水についてはいくつ。そういうふうにまとめたほうが分かりやすいのではないかなと。と思います。以上です。

委員長 今、中津川議員のほうからそういうふうな意見が出ましたが、その意見に対してはいかがですか。

井上委員 いいと思いますよ。会計ごとに内容を取りまとめていただければいいと思います。

田代委員 今、中津川議員から話のあったとおり、大きい記として一般会計、もう一つの会計としては特別会計・企業会計の2つに分けた中で、おのおの(1)からその番号を入れるということで、私もよろしいかなと思います。あと細かい字句の修正は、今、私が提案した絞り込むという作業を皆さんに諮っていただいて、このままでいくのか、または絞り込んで入れるのかね、その議論をしていただいて、あとは細かい字句の修正は、いろいろあるんでね、それを先にやっちゃって、もし絞り込むことになったら二度手間ですからね、流れとすれば一般会計で何点やるのか、特別会計・企業会計で何点入れるのかと。その絞り込みを行うか行わないか、そういう形で進行していただくとありがたいと思います。

委員長 中津川議員の発言の前にですね、田代議員のほうから、今11項目をもっと絞り込んだらいいじゃないかというふうな意見出されました。その中で、どのくらい、何件ぐらいまでという話は出ませんでした、その件も併せてですね、もし絞り込むんだったら何件ぐらいに絞り込んだらいいじゃないかと。ちょっと今までの附帯項目なんかと比べても、全然今回多いのでね、その辺もちょっと検討していただけたらというふうに思いますので、皆さんの意見をお願いします。

田代委員 1つずつやられたらどうですか。

委員長 1つずつ。残すか残さないかで。

田代委員 そうそうそう。

委員長 ただ、目安として、全部残すのが一番最良だと思うんですよね。ある程度、例えば五、六点とか、そういうふうに絞ってやると、じゃあ自分はこれを消したらいいとか残したらいいとかね、判断つくと思うんですけど、その辺は、もし残すんだったら何アイテムぐらい、何件ぐらい残したらいいかというふうなことを事前にちょっと頭の中に入れていったのがいいのかなと思うんですけど、皆さんいかがですか。

田代委員 今、委員長からそういう提案もありましたけど、やはりこの内容を見た中でね、残すか残さないかのほうがよろしいのかなと。やはり6年度の大きい予算ですから、つり方とすれば、大きい内容を残すと。初めから枠はかけないで、一つ一つ議論したほうが私はよろしいかと思えます。

委員長 田代委員のほうからそういうふうな意見出ましたが、そういうやり方でよろしいですか。

ではですね、1番から順番にやっていきたいと思えます。まず1番、AIデマンドバス購入事業については、収支が厳しいとのことなので、収益の状況を見きわめて利用者を増やすことで持続可能な事業とされたい。この件に関してはどうでしょう。この項目は。

田代委員 続けてすみません。AIオンデマンドバス購入となっていますけど、名称については新モビリティサービス推進事業のほうがいいのかな。またはAIオンデマンドバス運行事業とかね。要は、これはバスの購入じゃなくて、トータル的に収支状況を言っていますのでね、そのように修正をするという条件の中で、これはやはり重大な事業ですので、私は残すべきだと思います。

井上委員 今のところで補充なんだけど、収支というのは、事業体のほうの収支なんですよね。収支が赤字だとかというのは。町のほうの予算が、バス購入が予算計上されていることに対して、それに対する意見ですので、モビリティバスでも何でもいいんですけれども、購入事業というところがね、予算の一般会計予算に計上されているところで、収支は町が行っている事業ではなく、事業体の行っている事業の収支だということは、ちょっと分けて整理をしたらというふうに考えます。

委員長 井上委員は、デマンドバスの購入事業について、2台で1,300万でしたっけ。そのことについて言ってるわけで、ほかの人はデマンドバスのシステム自体について、収益をね、収益のことを言ってるわけですよね。それで持続可能な事業とされたいと。

井上委員 …は言ってないでしょう。私は言ってない。

北村委員 寺嶋さんかな、おっしゃったの。

- 委員長 2つの意味が。
- 北村委員 2つをがっちゃんこしたらこうなった。
- 委員長 これを1つにしちゃったような感じなんです。
- 田代委員 69ページを見ていただきたいと思います。予算書69ページの一番下です。これが事業名で、新モビリティサービス推進事業と。これで大きく捉えて書くような表現でいかがなものかと。備品購入費の中にバスの車両も購入もあるけれども、実証実験も言っていて、収支状況も言っていると。この辺でうまくまとめればいいのかと思います。改名については、バス購入よりも大きく捉えてある推進事業ということで、いかがでしょうか。
- 委員長 田代議員のほうからですね、69ページは新モビリティサービスで、3,913万のうちのバスは1,300万だけど、ほか、2,600万のほうが大きいので、というふうな意味ですよ。
- 田代委員 全部を含めてだね。大きく。
- 委員長 並行して何かうまい表現があれば。それでもいいかなと思うんですけど、皆さんいかがですか。
- 北村委員 皆さんの意見をお聞きしてですね、ちょっと大きく捉える文章になるんですけども。新モビリティサービス推進事業については、収支の状況を見極めて利用者を増やすことで持続可能な事業とされたいで、いかがでしょうか。
- 委員長 もう一回。
- 北村委員 新モビリティサービス推進事業については、収支の状況を見極めて利用者を増やすことで持続可能な事業とされたい。
- 委員長 いかがですか、今の文言で。（「お願いします。」の声あり）それでまとめさせてもらっていいですか。（「はい」の声あり）じゃあ、お願いします。
- 次、2番へ行きます。新松田駅周辺整備事業については、町民の意見を反映した都市計画決定とされたい。（「いいと思います。」の声あり）ほかの委員の皆さんは、よろしいですか。これも大きな、これからの大きな事業になると思いますので、これもじゃあ附帯項目入れるというふうなことで、よろしいですね。（「はい」の声あり）

3番へ行きます。生涯学習センターの利用料金値上げの中で、利用者を増やして収益が上がるようされたい。この意見については、皆さんいかがでしょうか。いかがですか。

井上委員 ちょっとこれ、歳入のことを言ってるのかね。歳出のことを言ってるのか、ちょっとよく分からないんですけども。どなたかが質問されたんですけども。

議長 これ、でも議論の中では言っていないんじゃないの。

井上委員 言っていないの。

議長 議論の中ではね。最後の意見出したときに出てきた、初めて。

井上委員 いやいや、だからその中でね。歳入のことを言ってるんですか。予算の中の、予算書に係る附帯事項として、ちょっと意味がね、捉えにくいかなと思うんですけど、どうですか。

寺嶋委員 これは私が出したんだけどね。歳入の中での項目だと。項目を言ってるんですね。歳入。

委員 長 じゃあ、収益を上げるようにと、収入を増やすようにという意味ですね。

寺嶋委員 そういうこと。だから、歳入のほうになりますけども。それで判断してください。

南雲委員 今、総務文教のほうで生涯学習センターの今後の在り方ということでやっていますけれども、調査研究していますけれども、その中で細かく、いろんな料金のこととかもいろいろ勉強している中で、収益を上げるようにされたいという部分でも、使えば使うほど赤字になるという部分もありますので、ここはちょっと、これからいろいろ深めて、総務文教のほうで深めていきたいと思いますので、よろしいかなとは思いますが。すみません、そういう感じです。

田代委員 だからどうするの。だから載せるの。

南雲委員 載せないの。

田代委員 それだよ。

委員 長 今、総務文教のほうで2年間かけてこの辺をですね、調査研究してますので、今回あえて載せなくてもいいんじゃないかというふうな意見だと思います。いかがですか、皆さん。（「はい」の声あり）

じゃあ、3番はこれは削ることにしますので、よろしく願います。

4番へ行きます。町独自の健やか祝い金5万円を維持して、給食費無償化に向けて努力されたい。この件、いかがでしょうか。

田代委員 私は、今日やったから皆さん記憶あると思うんですけども、無償化、どうなんですかね。私は最低限の自己負担は、受益者負担、必要だと思うんですよ。この辺が議員が全部意見があってなかったような感じがするので、後ろの後段すごく気になります。町独自の健やか祝い金も5万円でもいいんだけど、ほかにもいっぱい、いろんなこういうことで新しいことをやってるから、これはどちらかという大きい、すごい大きいものよりも、各論の中のね、子育て支援事業だと思うので、提案された方には申し訳ないけど、ここはカットしてよろしいのかなと思います。

委員長 いろいろある子育て施策の一つだからカットしてもよろしいんじゃないかというふうなこと、意見だと思うんですが、皆さんいかがですか。

吉田委員 給食費無償化については、私もそういうふうに思うんですが、そこで議長が言ったように、やっぱりまず国のほうに働きかけるとかだったらまあ分かりますけど、そのレベルのものだったら、ここに載せなくてもいいんじゃないかと思います。やることは必要だと思います。

委員長 ほかに。今、載せなくてもいいんじゃないかというふう意見出ました。ほかの委員の皆さん、いかがですか。意見としては。

カットしてもよろしいですか。

(「はい」の声あり)

じゃあ、カットの意見が多いようですので、4番は削除ということにします。

5番へ行きます。寄地区活性化については、一過性ではなく、持続可能な施策にしていきたいという意見です。委員の皆さん。

中津川委員 私ちょっと先ほど寄地区の活性化についてはということで、その後ね、一過性ではなく、持続可能な施策として取り組まれない。していきたいじゃなくて、取り組んでいただきたいでもいいんですけども、上のほうの表現でいくと、取り組まれない。ちょっと6の関係で言っちゃうと、みやまの里の運動広場も、

寄活性化の中の一つなので、5と6を合体させたような形で1つでいいのかなと。今回、特に寄に特化していろんな施策がね、打ち出されているので、寄の活性化についてはぜひ意見として上げていただきたいなというふうに思っています。以上です。

委員長 今、中津川議員のほうから、5番、6番、寄活性化についての意見なので、これを1つにまとめ上げたいというふうな意見が出ました。皆さん、いかがでしょうか。残して1つに合体した何かいい文言をつけて残すかどうか。

残すとしたら、どういうふうな文言がよろしいでしょうかね。

井上委員 発言者のね、方の趣旨がちょっと、一緒にできるとしちゃっていいのかなとか、ちょっと確認しないとね。ちょっと何か、内容が趣旨が違うんじゃないかなと私は思うんですけども。ちょっと発言者のほうで、一緒にして構わなければ構わないんですけどね。どうなんですか。

南雲委員 この人口芝に関しては、町民の方からお電話を頂いたりして、やはり環境とか、すごい気にされている方がいらっしゃって、こういった部分がやはり町民にちゃんと浸透していくことが大事かなということで、このような意見、出させていただいたので、この5番と6番、一緒にできないような気がします。すみません。（「分かりました。」の声あり）

委員長 じゃあ、そういう意見で、意見出された方がそういう意見であるなら、5番は5番でちょっと検討していきたいと思います。いかがですか。

北村委員 5番については結構今回、寄についてかなりですね、予算割り振られていると思いますので、そういったところではここで終わりとかという話じゃなくて、持続的に広がるのが松田町の活性化につながると思いますので、5番については載せていったほうがいいのかなと思いました。以上です。

委員長 ほかに意見ございますか。

井上委員 6番はね、もうちょっと環境面に配慮するとかね、町民のコンセンサスが払えるよというの、ちょっとよく分からないんじゃないかなと思います。ちょっと6番は後段を変えたほうが、趣旨が分かりやすいんじゃないかなというふうに思います。

南 雲 委 員 ごめんなさい、町民に合意が得られるような…だから、町民の合意が得られるような。

井 上 委 員 何に対しての合意。

南 雲 委 員 だから、この環境とかそういうところ。その説明をすれば。

北 村 委 員 すみません。僕の記憶が確かだとですね、寄みやま運動広場の人工芝については、環境的な多分コンセンサス、環境的なことに配慮してくださいというのが1つと、もう一つ、スポーツツーリズムとの流れがあったので、こちらのほうについても町民が納得するとかですかね、分かりやすいようなところで、何のためにという目的等々をしっかりと町民の意見を聞いて執行されたいということだと思いますので、その2つを組み合わせた文章にすればよろしいのかなと思います。

南 雲 委 員 じゃあ、文章にしてくだされば結構です。

北 村 委 員 そうなりますよね。

南 雲 委 員 言ってください。

議 長 ただ、このスポーツツーリズム、ここだけじゃなくて、何か所かに出てきちゃったから、今回。それも混ぜていいのかなというのが、ちょっと悩んじゃうんだよね。

田 代 委 員 そうだな、ほかにも出てるから。

議 長 三、四か所あったでしょう、今回。

田 代 委 員 じゃあ、腹案読み上げます。改名がね、新設工事が入っているんだよね。寄みやま運動広場新設工事は、環境面に配慮して取り組まれないとか進められたりとか、そういう形でいかがでしょうか。あと何か加えるんだけど。スポーツツーリズムはちょっと入れると分からなくなるからな。

南 雲 委 員 何ページでしたっけ。

北 村 委 員 すみません、みやまの里、何ページでしたっけ。

議 長 127。

北 村 委 員 (6)については、寄みやま運動広場は環境配慮というようなところでピックアップしていただいた、先ほどの田代さん案でよろしいかと思います。スポ

ーツーツリズムについては、次、7番で触れていますので、ここで集約される
というような形で、いかがでしょうか。以上です。

中津川委員 今、環境面でということなんですけども、完成すれば当然あそこ、多目的に
利用しているので、安全面にも配慮が必要なのかなということで、安全や環境
に配慮したというふうな、ちょっと「安全」という言葉を入れさせてもらった
ほうがいいかなと。以上です。

委員 長 北村君、ちょっと読み上げてもらえますか。6番。

北村委員 分かりました。寄みやま運動広場人工芝新設工事については、安全や環境に
配慮して執行されたい。

委員 長 それでいいか。どうですか、今のは分かりやすくて。

田代委員 もう一回やるようだよ。仮置きだよ。いいと思いますよ。

委員 長 じゃあ6番はそういうことで。

5番は、どうですかね。5番、取り上げるかどうか。取り上げるとしたら、
この文言でいいのかな。

北村委員 5番についてはですね、先ほど中津川さんがおっしゃったとおりですけれど
も、寄地区の活性化については、一過性ではなく、持続可能な施策として取り
組まれたいのでよろしいのではないのでしょうか。以上です。

古谷委員 もうちょっと内容をちょっと入れたほうがいいのかというふうに思うんで
すけど。

委員 長 俺も、一過性というのはね、抽象的だなと思って聞いていたんだけど。

古谷委員 内容を付け足したほうがいいのかと思ってます。

中津川委員 一過性というのはね、先ほどちょっと平野議長さんからもお話あったんだけ
ども、定住とかね、移住の促進で、いきなりはお金を、補助金を出すというこ
とで、そうすると何か飛んじやったような気がするんでね、あれがここ二、三
年とか四、五年の話ではなくて、一過性ではなくて持続可能、いつまでも施策
として取り組んでいただきたいような、そういう気持ちでさっきちょっと言っ
たので、一番最初に私が言ったのは、一番先に意見出したときに、今回いろん
な施策をね、寄で展開しているんだけどもというちょっと前置きを置いてある

んですね。それに対して、ちょっと今、確かに今この案の中では、ちょっと大切な部分が言われれば抜けちゃっているのかなとちょっと思いますので、もうちょっとここは残すものならば、もう少し手を入れなければいけないかなというふうに思います。

田代委員 各種施策でいくか、頭に定住。定住をはじめとする各種施策とか。

委員長 定住と観光とかさ。

田代委員 ここでやっぱり一番の目的は、やっぱり定住化でいろいろやられていると思うんで、寄地区の定住化とか、あとは定住化をはじめとする各種施策については、一過性でなくということで、定住はやっぱり一番人口減に対してメインでいろいろ枝でその下でやっているんでね、定住を枕詞にしているのかなって感じます。それだけで足らなかつたら、定住をはじめとする各種施策、その辺で中津川さん、どうですか。

中津川委員 はい、ありがとうございます。

北村委員 じゃあ、今の田代さんのおっしゃったのをまとめて、寄地区の定住をはじめとする各種施策については、一過性ではなく、持続可能な施策として取り組まれたい。でいかがでしょうか。（「はい、いいです。」の声あり）

委員長 じゃあ、5番は載せるということで、よろしいですか。

（「はい」の声あり）

じゃあ、そういうふうな形で載せさせていただきます。

次に7番へ行きます。スポーツツーリズムについては、目標を精査して執行されたい。これはいかがでしょうか。

いかがですか、7番については。

吉田委員 精査もそうなんですけど、確かに何をするのかというのが明確でないので、精査明確にしてと入れて、何に向かっているのかというのは、はっきりしてもらいたいなどは思います。

委員長 ほかの方の意見はございますか。無理して載せなくてもいいとは思いますが。けど。（私語あり）

寺嶋委員 私はあまり言う立場でないんだけど、スポーツをね、見る、する。それで

スポーツは旅行なんだよね、ツーリズム。旅行することなんだ。それで、これはあまりね、ちょっと趣旨も曖昧なので、そう目配って載せる必要もないかなというふうに私は思うんですね。だから、目標自体、それも事業そのものが見えないわけですよ。それをあえて載せる必要はあるのかなという疑問です。その後、検討してください。

委員 長 いかがですか。今、提案者らしき人から説明がありましたけど。

吉田委員 127ページのところに、大変スポーツツーリズムについていっぱい載っているわけですがけれども、これ、コミッション推進委員報償とかイベント講師とか、講師の謝礼とか、運営費とか、下のほうにはいろいろとまた委託料とかって、こうやって載ってるんですけども、お金はあるんですけども、じゃあこれについて具体…どうするか。それでどういう方向に持っていこうとしているのかというのは、何でもかんでもつくったり、何でもかんでもイベントしたりということではなくて、そこについてはちょっと精査して、それで明確にどうするのかというのを提示して進めていくということは必要なかなと思います。

委員 長 いかがですか、ほかの人の御意見は。

提案者から、じゃあちょっと説明したいそうなんですけど。

議 長 すみません。ちょっと曖昧だと言われたので。スポーツツーリズムについては、目標と波及効果を明確にしてではどうでしょうか。

井上委員 提案者が言われたように、省いたほうがいいんじゃないですか。

議 長 省いたら、そのまま行っちゃうよ、これ。国100%と書いてあるけどさ。

北村委員 まあ、でも言ってることはそのとおりだと思います。載せるのならですけど。そこですよ。

議 長 これ、だって言われてぴんときている人は何人いるんですかって話なんですよ。これ、こういうことをやるのねって、納得できますか。だから明確にしたい。何やるか分からないじゃない。

吉田委員 これ、話を聞いていたときに、補助金などを使って、かつてもやりましたけれども、何かイベント、鬼ごっことか、そういうのも含めて、イベントだったりそれとか、ここで言うと、そうですね、ソフト面、ソフト面ですからそうい

うようなイベントをやるために必要ないろいろなことじゃないかと判断していたんですけども、ただやればいいやということで、補助金でやれるのかもしれないけども、それにしても税金使ってやることなので、やっぱりどうやったら…やったことに対してのいろいろな有効な効果を考えて進めてくれというような一言があってもいいのかなと思いました。

委員 長 いかがですか、皆さん。スポーツツーリズム。(私語あり)

田代 委員 何かつながっていく事業だったら言えるんだよ。

委員 長 今回どうでしょうね。落としてもいいんじゃないかと思うんですけど。よく分からないものを載せてもね、しょうがないんじゃないかと思います。

井上 委員 このまま載っければいいんじゃないですか。内容的にもこれで理解できますし。

田代 委員 載せるという意見。

井上 委員 そうです。

委員 長 ほかの人、いかがですか。意見出ませんけど。スポーツツーリズムについて、目標を精査して執行されたい。

議 長 目標と波及効果。明確に。

田代 委員 一般会計はここままで7点です。それで、2点が減りましたから、今現在5点。仮置きということで、1、一般会計で1から5まで、取りあえず作っていただいて、この後に2番として特別会計と企業会計だよ。一回仮にやって、もう一度、再度調整でどうですかね。仮置きで。進まないからさ。

中津川 委員 今、一般会計のところ、今5つ最終的に残ったんですけども、これはさっきの発言順に並べているだけなので、例えば予算書のページ数の若いほうから並べるとか。

田代 委員 それは後でいいでしょう。それは次だよ。

委員 長 どれが重要でどれが重要じゃないというのはないんだ。みんな同じように重要なわけだから。

中津川 委員 その予算書のページ順に並べたほうがいいのかかと、ちょっと思います。

田代 委員 今は取りあえず仮置きのためにやって、今、中津川さんが言われるのは、そ

の次の段階でね、みんなである程度話さないと進まないと思う。だから、これはこれでスルーしていただいて。

中津川委員 次の段階でも、もう5つが決まっちゃったんだから、今でもいいんじゃないですか。

田代委員 いやいや、だからもう一回とるかどうかな。今まだ仮置きで、メモだから、一回、ある程度形ができたものにして、もう一回審査しましょうと、そういう意味で私言ったんですよ。

中津川委員 これが全部残ったのかなと。

田代委員 いやいや、まだまだだよ。それじゃないと進まないよ。

委員長 じゃあ次へ行きます。じゃあ7番ちょっとペンディングということで、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

飛ばさせてもらって、8番へ行きます。松田町寄簡易水道事業会計…(「診療所ですよ。」の声あり)診療所会計か。

北村委員 診療所収入が増加するように。

田代委員 そうです、診療所です。

委員長 すません、松田町国民健康保険診療所事業については、財政調整基金が枯渇するため、診療所収入を増加するよう努力されたい。これはいかがでしょうか。載せるかどうか。載せるかどうか。載せるとしたら、このままの文面でいいかどうか。

田代委員 私がこの質問したときに、具体的に発熱外来ということで、予算も300万プラスになっているから、それなりのことを確認できたから、これは結構です。私のほうで辞退します。

委員長 カットしちゃって。

田代委員 カットで結構です。

委員長 じゃあ、今、8番から、提案者から辞退してもよろしいというふうな意見出ましたので、8番はカットをお願いします。

じゃあ、次に9番行きます。松田町上水道事業会計については、水道使用料

の滞納額の縮小に努められたい。

田代委員 これも私が提案したんですけれども、次の10番、これと似たような内容です。頭にやはり上水道事業会計と言葉がつくと思うんですけど、給水人口の減少によりと云々できて、最後のところに的確に執行されたいで切った後に、またその上の9番です。水道使用料の滞納額縮小に努められたいということで、9、10を一緒にしてしまう。こういうことでちょっと提案させていただきます。

委員長 もう一回、10番の文言を言ってもらえますか。設備からちょっと、ここに書いてあるのと違っていたので。

田代委員 この内容はね、また皆さんと少し調整していただくという前提でね、申し上げます。

委員長 じゃあ、10をのけて9番を持ってくるというふうなことでよろしいですか。

田代委員 10番を初めにうたって、一回切りのいい言葉でちょっと切っていて、その後に「また」ということで、水道使用料の滞納額減少に努められたい。

委員長 分かりました。じゃあ、これは、いかがですか、皆さん。載せますか。よろしいですか。じゃあ、10番は載せるということで対応したいと思います。最後の11番。

北村委員 ちょっとまとめの上で確認させてください。10番の文章というのは、上水道と簡易水道、2つにまたがるもののイメージでよろしいでしょうか。

井上委員 違います。上水道だけです。

北村委員 上水だけの話ですか。

井上委員 11番は寄簡水だけど。

北村委員 ごめんなさい、11番じゃなくて10番の話です。

井上委員 10番は上水道だけ。

北村委員 上水道だけですね。じゃあ、上水道会計として、給水人口の減少により、減少が見込まれる中で、設備改修も必要なため、的確な執行をされたい。また、滞納額の縮小に努められたいでよろしいですかね。

委員長 それでは、最後の11番へ行きます。令和6年度から…ごめんなさい。松田町寄簡易水道事業会計については、令和6年度から企業会計化されたが、開始か

ら借入れが必要な状況であることを鑑み、今後の健全な財政運営のため、的確な対応を検討されたい。これはいかがでしょうか。（「結構です。」「いいと思います。」の声あり）じゃな、これは文言もこのままでよろしいですか。

（「はい」の声あり）じゃあ、今、取りあえずですね、ここまで変更・修正があったところを打ち直して原稿を用意しますので、暫時休憩とします。

（14時58分）

委員長 休憩を解いて再開します。

（15時19分）

休憩中にですね、予算審査特別委員会報告書を修正、皆さんの意見を取り入れまして修正しましたので、修正箇所を中心に事務局長から読み上げてもらいます。

議会事務局長 それでは、案として説明します。細かいところは飛ばしまして、裏面ですね、審査の内容の（1）から。（1）一般会計予算、①新モビリティサービス推進事業については、収支の状況を見きわめて、利用者を増やすことで持続可能事業とされたい。

②新松田周辺整備事業については、町民の意見を反映した都市計画決定とされたい。

③寄地区の定住をはじめとする各種施策については、一過性ではなく、持続可能施策、取り組まれたい。

④寄みやま運動広場人工芝新設工事については、安全や環境に配慮して執行されたい。

⑤スポーツツーリズムについては、目標と波及効果を精査してから執行されたい。

（2）企業会計予算。①松田町上水道事業会計予算については、給水人口の減少により減収が見込まれる中で、設備改修も必要なため、的確に執行されたい。また、滞納額の縮小に努められたい。

②松田町寄簡易水道事業会計予算については、令和6年度から企業会計化されたが、開始から借入れが必要な状況であることを鑑み、今後の健全な財政運営のため、的確な対応を検討されたい。

お願いします。

委員長 以上読み上げてもらいましたが、これで皆さんの意見を再度お伺いしたいと思います。何か御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

いかがですか。

田代委員 まず、先ほど中津川さんから、この並べ方、予算順とか少し精査したほうがいいんじゃないかと意見出たんですけれども、私はやはり大きい事業、すごい金額の張る事業もあるし、比較的少ない事業もある。また、町に影響力をもたらす事業、そういったやはり大きいものから入れたほうがいいのかないのかなというのが私の考えです。

1番と2番、入替えでいいのかないかなと。やはり新松田駅周辺事業は、もう本当にビッグ事業ですので、大きい事業で、都決にこれから進んでいくんで、2を1にして、1を2にする。次に、先ほど休憩時間にちょっとお話ししたんですけれども、スポーツツーリズム、これについては国からどんときて、一回実証実験でやって、あとはどうなのかなという感じで、見えないので、一過性のものであるような感じするんで、これは皆さんとの協議なんですけれども、割愛するという選択肢もあるのかなと。それが2点目です。

あとは細かいことで、寄地区の定住を「はじめ」、これは漢字のほうがいいのかないかな。それと、一番下です。(2)の②寄簡水についてはその後、「、」。その辺が気がつきましたので、よろしく願いいたします。

委員長 今、田代議員のほうから3点ばかり指摘がありました。いかがでしょうか、皆さんの意見は。まず1つは、なるべく大きな事業から並べたのがいいんじゃないかということで、1と2を入れ替えると。それで、5は割愛する。そして、3つ目は、後ろから3行目を「予算については、」と。あと、令和の「令」の間に「、」入れるということですよ。この3つが今、意見として出されましたが、皆さん、御意見いかがですか。田代議員の意見については。

中津川委員 一般会計予算のほうの並べ替えについては、私、先ほど言いましたけど、今、田代さんのおっしゃったとおりでいいと思います。

それから1点、企業会計の予算の①のところの一番最後ですけれども、滞納額

の今「縮小」となってますけど、ここは「縮減」のほうが意味が通じるかなと。「縮減」ほうがいいかなというふうな気がしました。以上です。

委員長 今、中津川委員のほうから、1番と2番は交替でいいけど、次に企業会計の1の最後の行ですね、「縮小」から「縮減」のほうがいいんじゃないかというふうな意見です。いかがでしょうか、皆さん。

じゃあ、まず1と2を入れ替えるという件については、皆さんいかがですか。ほかの委員の皆さん。よろしいですか。

(「異議なし」の声多数)

じゃあ異議なしということですので、1と2を入れ替えて、新松田のほうを1に持ってきます。

それともう一つ、スポーツツーリズム、この割愛の件については、いかがでしょう。委員のほかの皆さんは。

井上委員 私はそのままでいいと思います。

委員長 このままでいい。そのほかの委員の皆さん、御意見はいかがですか。

そんな深く考えることないと思うんですけど。割愛するか、残すか。それだけですよ。

古谷委員 残してもらいたいと思います。

委員長 12番、いかがですか。

寺嶋委員 カットしても構わないです。

委員長 カットでいい。12番はカットだそうです。5番の秋田谷さんはいかがでしょう。

秋田谷委員 このままで。

委員長 3番の吉田さんは。

吉田委員 僕は先ほどの意見で。

委員長 割愛だっけ。

吉田委員 いや、残してほしい。

委員長 中津川さんは。

中津川委員 残してもいいのかなと思います。もう1点ね、ちょっとこれ、初めてなので

あれなんですけど、この報告書…。

委員長 ちょっとその後にしてもらえます。今それを先に決めますから。南雲さんは、
南雲委員 残していただきたいと思います。

委員長 じゃあ、どっちかという、北村さんが分からないんですけど、残したほう
のがいいと。北村さん、どっち。

北村委員 じゃあ残して。

委員長 残したほうのがちょっと数が優勢なようなので、残すことで皆さん、いかが
でしょうか。（「いいですよ。」の声あり）よろしいですか。じゃあ、これは
残すということにします。

それとあと、企業会計のほうの一番最後の行ですけど、滞納額の「縮小」を
「縮減」という、「縮小」から「縮減」、この文字の変更、よろしいですか。
（「はい」の声あり）じゃあ、これは「縮減」に変更させていただきます。

それと、2番の2行目、その前からいくと、予算については令和、この「、」
はそのまま入れるということよろしいですか。じゃあ、これは入れるという
ことで。

その前に、中津川さん、さっき言いかけましたけど、何か。

中津川委員 こういった報告書のつくりの一番最後に「以上」と入れてないんですが。

委員長 入れないです。

中津川委員 入れないんですか。そういうあれなんですね。はい、分かりました。ありが
とうございます。

北村委員 確認ですけれども、田代さんおっしゃられた3、寄地区の定住をはじめとす
る「はじめ」というのを開始の「始」で漢字にさせていただきたいと思います。
それで構わないでしょうか。（「はい」の声あり）

委員長 じゃあ、これを漢字にするということね。

北村委員 以上です。

委員長 それでは、一般会計予算の3番、寄地区の定住をはじめの「はじめ」は漢字
に置き替えるということで、御了解ください。ほかに。

田代委員 これは蛇足なんですけれども、ほかの町の特別委員会の報告書を見ると、す

ごいシンプルなんですよね。今回はこれでいいと思うんですが、今までの流れがあるから。これからちょっとね、いろんなどころの情報を集めて、少し全協あたりで協議してもいいのかなという感じします。これは要望です。

それとあとね、もう1点がね、やっぱりね、文字数が多いんだよね、こうやってばあっと見てね。一つ提案なんですけど、みんな「ついては」「ついては」「ついては」なんですよね。1、2、3全て「ついては」。予算については、新設工事については、各種施策については。すっきりさせるために、「は」でいいのかなという感じもするんですけど、どうですかね。

委員長 これは何かこういうふうな書き方に何か統一されているみたいなんです。

田代委員 いや、それはないな。何か続く場合は、また何とかについてはとか、同じ行の中で並列する場合はそういう使い方もするけど、これだけ「ついては」がずっとあると、「は」でもいいかなと、そんな感じがします。

議会事務局長 あくまでも参考の様式ですので、特に大きな流れが違ってなければ大丈夫かと思しますので、取るなら取るという形でも大丈夫かと思します。

基本的には何々については何々とされたいという形が、形としては定型になっています。

委員長 じゃあ、この辺もあれですかね、ほかの町の報告を見ながら。

田代委員 あとは一任でいいですよ。あとは、この「ついては」とか、それ以外の修正については、過去の従前の例に倣って、正・副委員長さんにお任せということで、お願いしたいと思します。

委員長 ほかにございますか。

(「なし」の声あり)

じゃあ、この辺で閉会ということで、最終的にこれでじゃあよろしいですね。

(「はい」の声あり)

以上、この報告書を14日の本会議で報告させていただきます。本日は長時間にわたり御審議いただき、ありがとうございます。これを持ちまして予算審査特別委員会を閉会とさせていただきます。御苦労さまでした。(15時31分)

この議事録は事務局が作成したものであるが、その正確なることを証するために署名いたします。

令和 年 月 日

予算審査特別委員会委員長 飯田 一